

# 地域と保小中の更なる連携を推進

～「たまがわ地域協育ネット」の取組～

【萩市 田万川中学校区】

## 地域の概要

田万川中学校区は、山口県の北端に位置し、東は島根県益田市および津和野町、南と西は萩市須佐に隣接しています。国道191号が通る江崎地区には、県指定文化財の西堂寺六角堂があります。また、山間にある小川地区は、農業が中心であり、ナシの栽培などが行われています。

校区内には、保育園2園、小学校2校、中学校1校があり、異校種間交流や小学校間交流も頻繁に行われてきました。また、地域の方々をはじめとして総合事務所、地域事務所、公民館、交番などの行政も教育に対して非常に協力的な地域です。

人口	2,826人
世帯数	1,301世帯
対象校・園 及び園児 児童生徒数	田万川中学校 54人
	多磨小学校 71人
	小川小学校 42人
	田万川保育園 40人
同 小川分園	21人

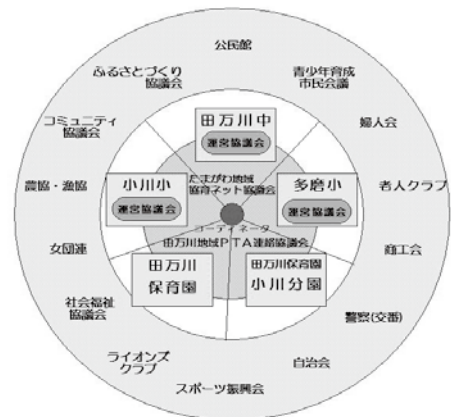
## 組織の内容

田万川地域は、教育に対し熱心に協力してくださる方が多く、子どもたちや親たちを守り育てる様々な関連組織があります。「たまがわ地域協育ネット」は、こうした既存の関連組織の活動を生かしながら、保育園と小・中学校のPTAで組織している「田万川地域PTA連絡協議会」を母体として、地域の主な協議会や団体、行政等の関係者も加わった組織で取り組んでいます。そして、「5育」の取組を基本とし、地域ぐるみで子どもを育てる活動を拡大させています。

田万川中学校は、平成17年1月に県内初のコミュニティ・スクールとなり、地域に開かれた信頼される学校づくりの推進をめざし、学校・家庭・地域の連携と協働による取組を展開して11年が経過しました。

また、「たまがわ地域協育ネット協議会」会則も作成され、中学校を事務局とし、運営等に関する事項も明確となりました。

【たまがわ地域協育ネット】



学校・園関係者	8名
PTA関係者	17名
行政関係者	4名
地域・団体関係者	9名

◇コーディネーター数：1名  
(コーディネーターは公民館長)

## 特色・重点的な取組

### 親のつとめ・大人のつとめ「5育」

「わたしたちの「ふるさと」の未来をになう子どもたちが大きな夢や志を抱いて、たくましく羽ばたくように、地域や自然とのふれあい・生きる技・知恵を授け、健やかに育てていきましょう。」

**ふれあい、ともにすごし、「生きる力」を育みましょう。**

- 1日1回(以上)は、家族だんらん『食事』をしよう。
- 『手伝い』を決め、働く気持ちを育もう。
- 生活する上での知恵を授けよう。

**マナー、ルールを守る子どもに育てましょう。**

- 善悪が『判断』できる、きまりが『守れる』ように育てよう。
- お互いに『あいさつ』をかわそう。
- 学習、読書、テレビ、ゲームの時間を決めよう。

**がまんできる心を育みましょう。**

- がまんできたら、しっかひめよう。
- 困難にチャレンジする精神を育もう。

**思いやりの心を育みましょう。**

- まわりの人々と仲良くする心を育もう。
- ものを大切にすることを育もう。
- 先祖を敬う心を育もう。
- 郷土を知り、地域を愛する心を育みましょう。

**命を大切にすることを育みましょう。**

- 自分の身は自分で守る心構え、態度を育もう。



田万川地域PTA連絡協議会  
田万川地域事務所

親・大人が変われば、子どもも変わる。子どもが変われば、学校・地域も変わる。

本年度の共通取組事項として、「校外でのあいさつの充実」を掲げ、「心豊かなたまがわっ子」の育成に取り組んでいます。

家庭教育の向上や将来を見据えた人材の育成も視点におき、地域ぐるみで子どもを育てていく気運を更に盛り上げ、参加団体ごとにできるところから、より具体的な活動に取り組むことを確認しました。

- ① 保育園・小学校・中学校の保護者が交代で、地域全体でのあいさつの励行を中心に、「親のつとめ・大人のつとめ『5育』」を呼びかける。
- ② 長期休業中の定時に、児童生徒の録音・放送により、帰宅時刻のお知らせと家庭でのふれあい等と呼ばれる「教育サイレン」を行う。

## 主な活動の紹介

### □ 地域の人材や素材を教育現場に生かす取組

- 多磨小学校では、地元の潜海船団・漁協・総合事務所の協力により、4年生以上の児童が親子遠泳大会を行い、自分の力に合った距離を泳ぎました。また、ラッカセイ収穫や田植え・イネ刈りなどの農業体験を地域の方の協力により実施しました。
- 田万川中学校では、「豊かな心を育む道德教育の推進」として、地域から高い技能や専門性をもつゲストティーチャーや保護者の参加を要請し、つながりを生かした道德教育に取り組みました。
- 田万川中学校では、森林組合の方によるシイタケの駒打ちなどの森林体験学習やシルバー人材センターの方の協力で1年生が門松づくりにチャレンジしました。



親子遠泳大会

### □ 学校教育活動と地域行事等との連携・融合の推進

- 小川小学校では、地域の特産物である果樹栽培農家を中心とした地域の祭りで、児童が果樹栽培学習の成果発表や販売の手伝いを行いました。
- 中学校区内の独居高齢者宅に児童・生徒が地域の支え合い活動として、年末訪問を実施しました。



道德の授業

### □ 小中連携による授業交流

- 文部科学省の文化芸術による子どもの育成事業として、パントマイム「ピエロマイムファンタジー」に多磨小学校・小川小学校・田万川中学校の3校児童生徒が参加しました。



水害想定避難訓練

- 小学校の英語の授業に、中学生が参加し、中学校の美術の授業に、小学生が参加しました。



地域祭りへの協力

### □ 地域と保小中連携による避難訓練

- 小川小学校・田万川保育園小川分園では、社会福祉協議会の調整による地域との合同水害想定避難訓練を実施しました。
- 多磨小学校・田万川中学校では、警察署・消防団の協力により、小中合同の不審者対応避難訓練と火災避難訓練を実施しました。

## 成果と課題

地域の子どもたちの課題を今一度確認し、そこから「子どもも大人も明るくあいさつをし合う」ことを重点テーマとして、防災無線を利用した「保護者によるあいさつ運動の呼びかけ」や「児童が行う長期休業中の教育サイレンの実施」等、具体的な活動を行いました。また、地域・保護者等のアンケートからは、子どもたちを地域ぐるみで見守り、支援し、育てていきたいという「地域協育ネット」の主旨が浸透しつつあるという結果が得られると同時に、保・小・中において地域の多様な教育資源を生かした新たな取組も行われています。

今後は、保・小・中が核となって、地域の人々をつなぎ、活性化を加速させる取組を更に工夫していきたいと考えています。

## 今後の取組

### □ 活動の深化・充実

主な活動について、活動を継続し、更に協議・改善を進めていきます。そして、参加団体がそれぞれの立場で、共通テーマに即した取組を実践し、活動の深化・充実を図ります。

### □ 学校教育と社会教育の連携・融合の推進

学校と公民館等の連携・融合により、地域の多様な教育資源を生かしながら、子どもと大人のふれあいや双方にメリットのある幅広い学習活動を一層推進します。

### □ 保小中の連携を強化し、家庭教育の一層の充実に向けた取組の展開

あいさつ、生活リズムや生活習慣、手伝い、家族のふれあい等について、保育園、小・中学校の連携した取組を一層充実させます。